



立教大学アジア地域研究所

公開公演・講演会のお知らせ

北インドの舞踊「カタック」の伝統

パキスタンの舞踊家によるレクチャー・デモンストレーション

日 時	2004年4月10日(土) 14:00~16:30
場 所	立教大学 池袋キャンパス 7号館 7101 教室
講 師	ファシーウル・ラフマーン [カタック舞踊家]
解説・通訳	小西 正捷 [立教大学アジア地域研究所研究員]

申込不要 参加費無料

立教大学アジア地域研究所は、これまでインド・韓国・バリ・中国等のアジア伝統芸能についての公開公演・講演会を開催し、その都度、参加者から高い評価を得てまいりました。このたび、北インド一帯に伝わる「カタック」舞踊の名手がパキスタンから来日することになり、当研究所で講演・公演の場を設けることになりました。

「カタック」はイスラーム文化の影響を受けて、主としてムガル朝期に貴族階層の間で発展を遂げてきた古典舞踊の一形式であり、以前、本研究所で演じていただいた南インドの「バラタナ - ティヤム」と並んで、インドの2大舞踊伝統とも言うべきものとして知られています。この舞踊は、イスラーム文化を継承するパキスタンでも継承されてきましたが、これまで日本で、パキスタンのアーティストによる公演は行われたことがなく、このたびのカタック舞踊家の来日はまたとない機会と存じます。

舞踊家のファシーウル・ラフマーン氏は現在43歳という比較的若い舞踊家ですが、8歳のときから舞踊をはじめ、いままさに油の乗りきった活動を展開中であります。

ぜひこの貴重な機会をお見逃さないようご案内申し上げます。

お問い合
わせ先

立教大学アジア地域研究所

tel : 03-3985-2581, e-mail : ajiken@rikkyo.ac.jp